

事務事業名	市長へのメール・意見・提言対応事務				担当	総務部 秘書課 広報広聴係	
政策名	F	市民の知恵と夢で拓くみんなのまちづくり			電話番号	83-8100	
施策名	3	開かれた市政の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成15 年度～）	
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	1. 総務管理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	市政に対する意見や提言を直接聞くために、市長へのメール、市長への手紙を実施している。電子メールの他、市長への手紙を入れる投函箱を、市役所や二宮分館、公民館など計11カ所に設置している。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 25年度実績 市長へのメール、市長への手紙について、住所氏名の記載のあるものについては、本人宛メールが手紙で回答している。  26年度計画 平成25年度と同じ				⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(見込) ア 市長へのメール・手紙数 件 198 174 101 79 90 イ 回答した数 122 107 65 38 50 ウ エ オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民				⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(見込) ア 市民の数 人 82,584 82,126 81,511 80,929 80,698 イ ウ エ オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 市政に対する意見や要望を把握するため。				⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(見込) ア 市政に反映した件数 件 10 12 8 5 8 イ ウ エ オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 市民の参加による開かれた市政の推進				⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(見込) ア 真岡市の市政に満足している市民の割合 % 68 71 67 68 70 イ ウ エ オ						
(2) 総事業費の推移				単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	0	0	0	0	0	
			事業費計（A）	千円	0	0	0	0	0	
	人件費		正規職員従事人数	人	4	5	5	3	0	
			延べ業務時間	時間	180	260	230	180	0	
			人件費計（B）	千円	768	1,103	966	732	0	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	768	1,103	966	732	0	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？		より多くの市民の声を聞くために、ホームページ開設後、市長へのメールを始めた。								
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		平成16年度から市長への手紙を入れる投函箱を、市役所や公民館、各分館の計6カ所に設置した。二宮町との合併に伴い、二宮分館や二宮文化会館（現：生涯学習館）など5箇所に追加設置した。								
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？										

2. 1 次評価の部      ＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市長が市民の声を広く聞くことで、市政への市民の参加と信頼を深める。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市政に対する意見や提言に対応する。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市民からの意見・提言を受け回答するほか、市政に取り入れている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 市民からの意見・要望に回答しているほか、市政に反映させている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 市民の意見を聞く方法が減ってしまう。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか （アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 手紙・メールに回答する人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の 2 次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(2) 2 次評価者としての評価結果  ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他 2 次評価会議で指摘された事項																								